

Takatori IR REPORT



第67期 株主通信

2022年10月1日～2023年9月30日



株式会社 **タカトリ**
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

証券コード：6338

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、会社創業以来、社是であります「創造と開拓」の精神を基に、お客様の発展に応えるべく「この世に無いモノを造るのがタカトリである」を我々の企業価値と捉え、世界を舞台として挑戦し、常に時代に先駆け、お客様の多様化するニーズに当社独自の技術とアライアンスによる最新の技術でソリューションを提供させていただき、67年間もの長期に亘り当社製品のご愛顧をいただいております。

当連結会計年度の実績は、電子機器事業及び医療機器事業につきましては部品の供給停滞状況の長期化等の懸念があるものの堅調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましては前年並みとなりました。

損益面につきましては、電子機器事業の受注・売上が順調に推移したこと、さらに、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めたことなどにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年実績を大幅に上回る結果となりました。

その結果、当連結会計年度の株主配当金につきましては、1株当たり40円の期末配当を実施させていただきました。

翌連結会計年度は、当社グループが関わる電子部品業界につきましては、新素材加工機器では、欧州をはじめとした各国で自動車の脱内燃機関に向けた動きが活発になっており、SiCの低価格化が進む事でシリコンパワー半導体からの置き換えがさらに進展すると予測されます。

半導体市場では、世界的な脱炭素の潮流の中で、省エネ対応のパワーデバイスディスクリートの需要は益々高まり、同分野向けの装置販売は今後も堅調に推移することが見込まれます。また、生成AI開発に使用する半導体市場が拡大している中、高速演算を可能にする高性能半導体の需要は益々増えるものと考えられ、この関連分野における装置販売の伸びも予想されます。

ディスプレイ製造機器では、引き続きウェアラブル機器の市場が拡大するため、今後も同機器向けのフィルム貼り付け機の販売は、比較的堅調に推移することが見込まれます。また、



代表取締役社長

増田 誠

EVの普及により、車載用ディスプレイの需要拡大も見込まれることから、曲面パネルや大型ルーフ等の高付加価値品向け装置の市場の立ち上がりも予想されます。

繊維機器市場につきましては、今後については円安進行による仕入れ価格や人件費などコスト増加が懸念される中、需要低迷が続き収益環境の厳しさが増していくと予測されます。

医療機器市場につきましては、医療機器のODM市場の拡大が見込まれるとともに、カテーテル製造装置は、生産工程の自動化・省力化へのニーズ拡大により、ODM受託により開発した医療機器のOEM供給が、引き続き堅調に推移するものと予想されます。

このような状況下、翌連結会計年度におきましても、これまで以上に「経営理念」を常に意識した利益創出体制に注力し、これからの節目であります「70周年」に向けて、新たなビジネスモデルの「創造と開拓」の実現を目指していく所存でございます。

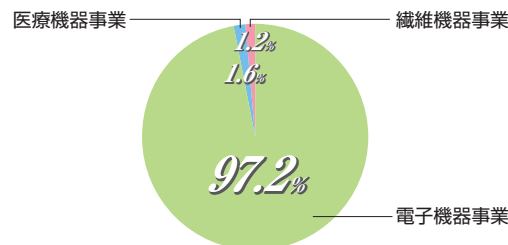
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

当連結会計年度における世界経済は、米国では良好な雇用情勢や実質所得の増加による個人消費や輸出の増加などから堅調に推移しているものの、企業景況感の悪化や資金調達環境の引き締まりを背景に、製造業による機械投資を中心に低迷することで景気は減速する見通しとなっております。欧州では、消費者マインドの改善が足踏みする中で個人消費は力強さに欠け、製造業、サービス業ともに企業の景況感は悪化、生産は減少傾向にあり、輸出も低迷するなど、景気は低迷しております。中国では、ゼロコロナ政策解除を機に、経済は急回復したものの、リバウンド需要が早期に終了し、個人消費は再び低迷しております。また、企業活動においても製造業を中心に、近年の政府による規制強化や国有企業重視の姿勢が民間企業の設備投資意欲を削いでおり、多くの企業は設備投資の拡大に慎重になっており、低迷しております。

一方、国内経済は、世界的な需要の減速が製造業の収益を押し要因としてあるものの、製造業では、供給制約の緩和による生産・輸出の回復を受けて、自動車を中心に増益傾向にあります。また、個人消費は、飲食などのサービスを中心に緩やかな回復を続けており、訪日外国人によるサービス需要の増加が非製造業の収益を押し上げており、堅調に推移しております。

■ 売上高構成比

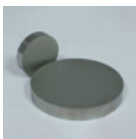


電子機器事業

新素材加工機器

新素材加工機器では、パワー半導体市場は、脱炭素に向けた各国政府の規制強化、再生可能エネルギーの需要拡大、電力効率向上の要求の高まりなどを背景に、EVの普及に伴うSiCモジュールのニーズ拡大に牽引され成長を続けています。中国でのパワー半導体市場では、インゴット供給及び工場建設計画の遅延の影響から受注計画に遅れが生じているものの、高速鉄道、自動車及び充電施設、発電及び高圧送電などのインフラ整備に向けて積極的に投資が続けられ堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。



半導体製造機器

半導体製造機器では、やや回復の兆しは見え始めたものの、依然としてスマートフォンの世界出荷量が低水準で推移しているため、ロジックICや電子部品メーカー向けの装置販売は低調でしたが、脱炭素社会を目指す世界的な流れの中、特にEV市場の拡大により、パワーデバイスディスプレイスクリーンメーカー向けの装置販売は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。



ディスプレイ製造機器

ディスプレイ製造機器では、市場が拡大しているウェアラブル機器ディスプレイ用のフィルム貼り付け機の販売は堅調に推移いたしました。一方、スマートフォンの世界出荷量が未だ回復していない影響によりパネルメーカーによる装置投資の動きが依然として停滞しているため、主力の中小型ディスプレイ用偏光板貼り付け機や真空貼り合わせ機の販売が低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。



医療機器事業

医療機器事業では、新型コロナの影響による部品の長納期化に対し先行手配等の対策を行うことで、販売計画への影響を限定的に留めました。また、ODM受託により開発した医療機器のOEM供給を開始いたしました。オリジナル製品である「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」の医療機関への販売及びレンタル、試用貸出し台数も増加いたしました。

このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。



繊維機器事業

主要チャンネルである百貨店・スーパーにおける衣料品売上は、行動制限の緩和から回復傾向にあるもののテレワークの定着や物価高に伴う節約・低価格志向の高まりを背景にコロナ前に比べて低調に推移いたしました。また、炭素繊維裁断機市場におきましても、先行きの不透明感から市場環境の改善はみられず、同様に一般産業素材向け裁断機におきましても低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は微増となりました。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (2023年9月30日現在)	前期 (2022年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	14,892,364	9,685,159
固定資産	3,149,627	2,978,988
有形固定資産	2,048,899	1,922,924
無形固定資産	23,088	18,694
投資その他の資産	1,077,639	1,037,368
資産合計	18,041,991	12,664,147

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2022年10月1日から 2023年9月30日まで)	前期 (2021年10月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	16,367,981	10,223,476
売上原価	12,392,555	7,553,155
売上総利益	3,975,425	2,670,321
販売費及び一般管理費	1,510,671	1,318,975
営業利益	2,464,753	1,351,345
営業外収益	144,222	120,074
営業外費用	9,407	9,129
経常利益	2,599,568	1,462,290
特別損失	906	—
税金等調整前当期純利益	2,598,662	1,462,290
法人税、住民税及び事業税	680,044	477,769
法人税等調整額	10,732	△ 43,816
親会社株主に帰属する当期純利益	1,907,885	1,028,337

(単位：千円)

科目	当期 (2023年9月30日現在)	前期 (2022年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	9,738,350	6,040,156
固定負債	121,054	217,055
負債合計	9,859,404	6,257,212
純資産の部		
株主資本	8,106,078	6,362,389
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	5,808,645	4,064,566
自己株式	△18,119	△17,729
その他の包括利益累計額	76,509	44,545
純資産合計	8,182,587	6,406,934
負債純資産合計	18,041,991	12,664,147

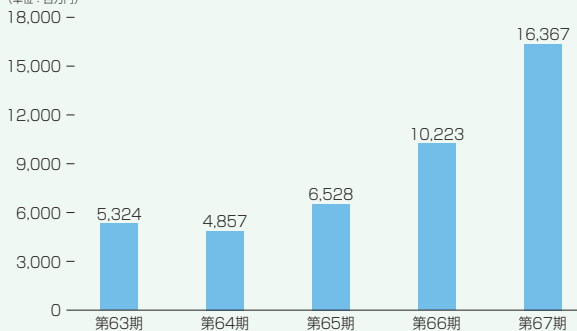
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2022年10月1日から 2023年9月30日まで)	前期 (2021年10月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,500,092	252,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,283	△290,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,155	11,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	755	11,191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,381,408	△14,928
現金及び現金同等物の期首残高	3,056,406	3,071,334
現金及び現金同等物の期末残高	4,437,815	3,056,406

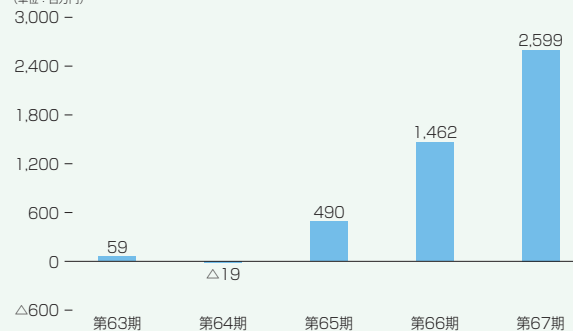
売上高

(単位：百万円)



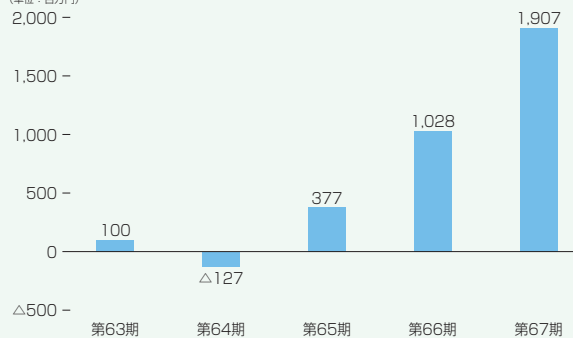
経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



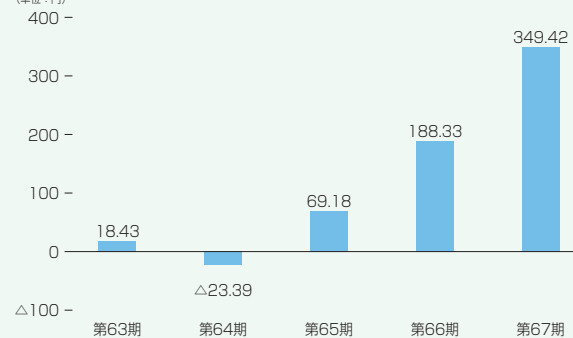
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

(単位：百万円)



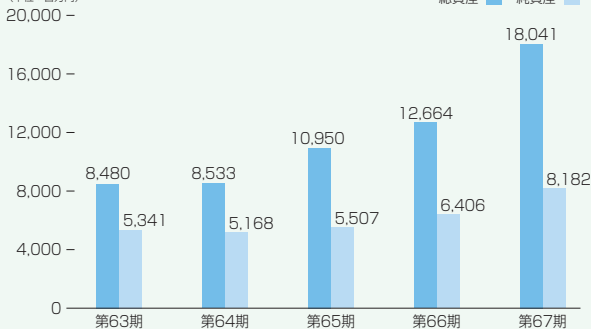
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)

(単位：円)



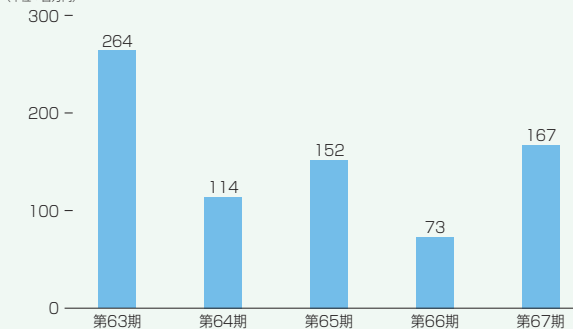
総資産／純資産

(単位：百万円)



研究開発費

(単位：百万円)



好評のパワー半導体向けSiC材料切断加工装置『MWS-SiC6』が更に進化をした大口径対応新作モデルのワイヤーソー『MWS-SiCX α 』に加えて、自動化研削機『GLAPPING-SiC』が登場いたしました

MWS-SiCX α 

特長

最新SiC用ワイヤーソー

- 最大10インチまで切断可能
- 高精度切断を実現する高剛性構造

GLAPPING-SiC



特長

世界初の省人・省スペース化を実現した自動研削機

- 高剛性フレーム構造による高速・高精度研削

各展示会に出展いたしました

『SEMICON China 2023』

2023年6月29日～7月1日



中国/上海で開催されました、『SEMICON China 2023』に出展いたしました。今回は、好評のパワー半導体向けSiC材料切断加工装置「MWS-SiC6」、大口径対応新作モデル最新SiC用ワイヤーソー「MWS-SiCX α 」などをパネル展示いたしました。

『ビューティ ワールド ジャパン 東京』

2023年5月15日～17日



東京ビッグサイトで開催されました、『ビューティ ワールド ジャパン 東京』に出展いたしました。ブースでは冷却美容マシン「Selene」の実機展示、並びに、無料体験会を開催いたし、おかげさまで大盛況で終わることができました。

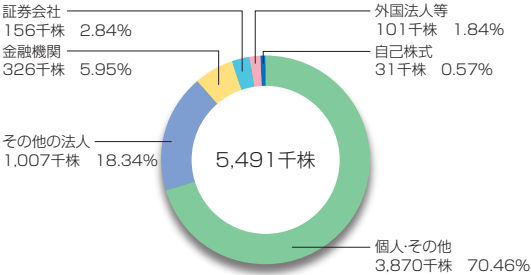
株式の状況 (2023年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	8,134名
■ 大株主	

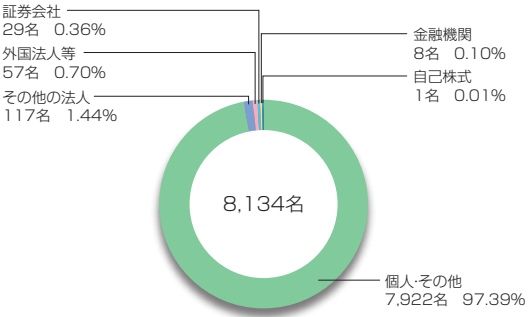
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有) コ ト ブ キ 産 業	347	6.37
タ カ ト リ 共 栄 会	287	5.26
大 阪 中 小 企 業 投 資 育 成 (株)	187	3.43
高 島 政 廣	153	2.81
岡 島 恵 子	117	2.16
仙 波 周 子	104	1.91
西 村 幸 子	100	1.84
(株) 南 都 銀 行	95	1.74
日 本 生 命 保 険 (株)	94	1.73
(株) 日 伝	82	1.52

(注) 持株比率は自己株式(31,334株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有者別株主数分布状況



会社概要 (2023年9月30日現在)

■ 商 号	株式会社タカトリ
■ 本 社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
■ 営 業 所	徳島営業所 徳島県徳島市佐古三番町7-9
■ 子 会 社	高鳥（常熟）精密機械有限公司 中国/江蘇省常熟市碧溪街道万盛路9号4幢101室
■ 設 立	1956年10月
■ 資 本 金	963,230千円
■ 代 表 者	代表取締役社長 増田 誠 代表取締役副社長 松田 武晴
■ 従 業 員	195名（グループ従業員数 198名）
■ 事 業 内 容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の製造及び販売

役員 (2023年12月22日現在)

■ 代表取締役社長	増 田 誠
■ 代表取締役副社長	松 田 武 晴
■ 専 務 取 締 役	岡 島 史 幸
■ 取 締 役	重 富 謙 一
■ 取締役(社外)	川 村 真
■ 常 勤 監 査 役	大 島 章 良
■ 監査役(社外)	山 田 磯 子
■ 監査役(社外)	岸 部 輝 一

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	①定時株主総会 9月30日 ②剰余金の配当（期末） 9月30日 ③ // （中間） 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
証券コード	6338
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ（ http://www.takatori-g.co.jp ） ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.takatori-g.co.jp>



Facebookのご案内



株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1